

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

『徒然草』神無月のころ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品の内容や作者の考え方を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	作品の内容や解釈を読み取るために必要な古典特有の表現などについて理解を深めつつ、作者の考え方を踏まえて自分の考えをもとうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・助動詞や呼応表現などの古典文法について理解する。	○			【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認
2 (2)	・学んだ古典文法を活用して本文の内容を読み取る。 ・作者がいつ、どこで、何を見て、どのように思ったのか、読み取れたことを整理する。	○	○		【知識・技能】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認
3 (1)	・筆者の価値観に対する自分の意見をまとめ、共有する。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。		○	○	【思考・判断・表現】 定期試験、ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

世界を広げる「批評」の言葉

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

（４）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 言葉を定義する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	学習課題に沿って、言葉の定義を行うことをとおして、進んで言葉について理解を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 定義の書き方について知る。 いくつかの言葉を辞典で調べ、言葉を定義する際に必要なことについて考える。 	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの言葉を取り上げ、その言葉の定義を考える。 自分の定義と辞典上での定義を比べてみて気づいたこと等をまとめる。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

余白の美学

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、資料等を参考にしながら要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べていることについて共感できるか、自分の考えを書く。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

家族化するペット

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。	学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、資料等を参考にしながら要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張とその理由に対して、賛否を明らかにした自分の意見を考える。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 統計資料から分析したことを書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。	学習の見通しをもって、資料から読み取ったことと自分の考えを区別しつつ、積極的に意見を書こうとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 統計資料の読み方、注意してみる点について知る。 事実をもとに考えを述べる際に注意すべきことについて知る。 	○ ○			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料から読み取ったことをもとに、前次で学んだことに注意しながら自分の考えを書く。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

自己をモデル化する知能

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 立場を明確にして書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。	「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	学習の見通しをもって、自己の立場を明確にしつつ、積極的に意見を書こうとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 意見文の文章構成や要約のポイントを知る。	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	・ 自己の立場を明確にした上で、反論を想定した意見文を書く。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

敬語への自覚、他者への自覚

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、資料等を参考にしながら要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べていることについて共感できるか、自分の考えを書く。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 情報を集めて分類する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。	「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。	学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 自分の意見を述べるにあたって必要な情報を集めて分類し、整理する。	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	・ 文章の構成を練り、収集した資料等を意見文に活用する。 ・ 評価、賛否、提案など自分の考えを書く。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

絵を見る技術

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。	学習したことを生かして、観察するとはどのようなことかを意識しつつ、積極的に絵の鑑賞について理解を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 図版を分析して書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。	「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	学習したことを生かして、具体と抽象を意識しつつ、積極的に図版を分析しようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 エピソードや具体例の役割を理解する。 事実をもとに考えを述べる際に注意すべきことについて知る。 	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取った客観的事実をもとに、自分の考えを書く。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

社会的実在としての言語・法・貨幣

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめ、それに対する自分の意見を書く。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 意見を交流する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。	「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	学習の見通しをもって、意見交換のポイントを意識しつつ、積極的に他者と意見交換をしようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (2)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 社会にとって重要だと思う事柄について自分の考えを書く。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 他の人の書いたものを読むときに着目するポイントを確認する。 他の人が書いたものを読んで、お互いにコメントをする。 自分の書いたものを修正する。 	○	○ ○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

心に「海」を持って

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめ、それに対する自分の意見を書く。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名： 国語 科目名： 論理国語

1 単元名： 調べたことをレポートにまとめる

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。	「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。	学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画 (2)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 引用のルールについて確認する。 レポートを書くために必要な情報を集める。 	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報をもとに、レポートを作成する。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：

地図と地理情報システム

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。	地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	位置や時差、地図などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	地球上の位置と私たちの生活 ・緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。	○			【知識・技能】 ・小テストの確認
2 (2)	時差と私たちの生活 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
3 (1)	身の回りの地図 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
4 (1)	統計地図の種類と利用 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (2)	地理情報システム (GIS) の活用 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認

後日

<p>・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</p> <p>・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	○	○		<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】</p> <p>定期テスト</p>
--	---	---	--	--

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：

現代世界の国家と領域

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。	国家の領域や国家間の結び付きなどに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	現代世界の国家と領域 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
2 (2)	日本の位置や領域 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	○		○	【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テストの確認
3 (1)	国家間の結びつき ・国家の領域や国家間の結び付きなどに着目して、課題を追究したり解決する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認
4 (2)	貿易によって結び付く世界 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認

5 (1)	<p>さまざまな交通網の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 		○		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業プリント」の確認
6 (1)	<p>拡大する世界の貿易と物流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家の領域や国家間の結び付きなどに着目して、課題を追究したり解決する。 			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業プリント（ワークシート）」の確認
7 (2)	<p>観光のグローバル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて理解する。 ・観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 	○	○	○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストの確認 ・「授業プリント」や課題の確認
後日	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 	○	○		<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】</p> <p>定期テスト</p>

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名： 世界の地形と人々の生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7) 時間扱い ○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	生活文化を考察する方法 ・世界の様々な写真から、自然的環境・社会的環境を読み取り、それを多面的・多角的に考察し表現する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認
2 (1)	大地形と人々の生活 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解する。 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】、【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テストの確認
3 (1)	変動帯と人々の生活 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
4 (1)	安定地域と人々の生活 ・安定地域の平野と生活への影響、安定地域の山地と生活への影響について理解する。	○			【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (1)	河川がつくる地形と人々の生活 ・河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解する。	○			【知識・技能】 ・「授業プリント」の確認
6 (1)	海岸の地形と人々の生活 ・海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて理解する。	○			【知識・技能】 ・小テストの確認
7 (1)	氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 ・氷河地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わりについて理解する。	○		○	【知識・技能】、【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認
後日	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：世界の気候と人々の生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	世界の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	生活文化の多様性と国際理解について。よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	気温・降水と人々の生活 ・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認
2 (2)	大気大循環と人々の生活 ・大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】 ・小テストの確認
3 (2)	世界の植生と気候区分 ・植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
4 (1)	熱帯の生活 ・高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解する。	○			【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (1)	乾燥帯の生活 ・水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
6 (2)	温帯の生活 ・季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解する。	○			【知識・技能】 ・小テストの確認
7 (1)	亜寒帯・寒帯の生活 冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解する。	○		○	【知識・技能】、【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認
後日	・世界の人々の特色ある生活文化と気候の関りについて理解する。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や植生、気候及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：

生活文化の多様性

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 ～オセアニア～ ・多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
2 (2)	モンスーンの影響を受ける地域での生活 ～東南アジア～ ・季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
3 (2)	イスラームと人々の生活の関わり ～中央アジア・西アジア・北アフリカ～ ・オアシス都市で発達したイスラーム、乾燥した地域での暮らし、乾燥した地域での農業について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
4 (1)	ヒンドゥー教と人々の生活の関わり ～インド～ 宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について理する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (2)	移民の歴史と人々の生活の関わり ～ラテンアメリカ～ ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
6 (1)	植民地支配の歴史と人々の生活の関わり ～サハラ以南アフリカ～ 商品作物にみる植民地支配の歴史の影響、一次産品への依存が強い産業について理解する。	○		○	【知識・技能】、【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テストの確認
7 (1)	国家体制の変化と人々の生活の関わり ～ロシア～ 国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ワークノート）」の確認

後日	<ul style="list-style-type: none">・ 具体的な国や地域の事例から、自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通し理解する。・ 地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	<ul style="list-style-type: none">【知識・技能】、【思考・判断・表現】・ 定期テスト
----	---	---	---	--

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名：

地球的課題と国際協力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。	世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	地球環境問題 地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
2 (1)	資源・エネルギー問題 エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
3 (1)	人口問題 世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
4 (1)	食糧問題 発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (1)	都市・居住問題 発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
後日	・世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ・世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

地歴

科目名：

地理総合

1 単元名： 持続可能な地域づくりと私たち

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。また、さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。	地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7) 時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	日本の自然環境 プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について理解する。	○			【知識・技能】 ・授業プリント（ワークノート）の確認
2 (1)	地震・津波と防災 火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について理解する。	○			【知識・技能】 ・授業プリント（ワークノート）の確認
3 (1)	気象災害と防災 地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察する。		○		【思考・判断・表現】 ・授業内課題の確認
4 (1)	自然災害への備え 災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技能】 ・小テストの確認
5 (2)	ハザードマップを読み解く 自分の身近な地域の地形図やハザードマップから適切な情報を読み取り、それを多面的・多角的に表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント」の確認
後日	・我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・定期テスト

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史 科目名： 歴史総合

1 単元名： 歴史と私たち

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。		諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【歴史の特質と資料】 ・身近な事例から資料を活用しつつ歴史を読み解き、歴史学習への関心を高める。 ・歴史学習に必要な基礎知識を確認する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

産業革命と市民革命

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
イギリスの産業革命やアメリカの独立、フランス革命といった経済と政治の大変革が従来の秩序を一新し、世界史が新しい段階に入ったことを理解している。	ヨーロッパの産業革命やアメリカの独立、フランス革命といった経済と政治の大変革が従来の秩序を一新したことについて、意味を理解し、適切に表現している。	劇的な変化を迎えた諸地域世界の関係を意欲的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【産業革命】 ・新たな発明により人々の生活がどのように変化したのか、当時の手記や絵などから考える。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
2 (1)	【アメリカ独立革命】 ・独立宣言を中心とした諸資料を読み取り、人間が生まれながらに持っている権利はどのようなものか考察する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
3 (2)	【フランス革命】 ・経済と政治の大変革が従来の秩序を一新し、世界史が新しい段階に入ったことを理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

18世紀のアジアの繁栄

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀の東アジアにおける清および周辺諸国について、十分理解している。 ・18世紀の東アジアで社会が成熟期をむかえ、経済の発展がみられたことについて、十分理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18私益の芯を中心とする国際秩序が、東アジアの各国の大使栄にあたえた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・18世紀の東アジア諸国の社会・経済について、共通点と相違点を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀の清を中心とする国際秩序について、現在の国家や外交のあり方と比較しながら、積極的に知ろうとしている。 ・18世紀の東アジアにおける海を通じた交易の活発化について、地域ごとの具体的な産品にも注目しつつ、積極的に知ろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【18世紀の東アジアの政治と国際秩序】 ・18世紀の東アジアにおける清および周辺諸国に関する基礎的知識を地図や史料を提示しながら理解する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
2 (1)	【18世紀の東アジアの経済と社会】 ・18世紀の東アジア諸国の社会・経済について、共通点と相違点に注意しながら理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

国民国家の拡大

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・パクス＝ブリタニカをもたらした近代世界システムの構造について、十分理解している。 ・クリミア戦争の影響とロシアの近代化、イタリアとドイツの統一について、十分理解している。 ・アメリカ合衆国の膨張や国民国家としての統合、工業化の進展について、十分理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスが自由貿易政策を展開して「世界の工場」となる過程で、どのように周辺諸国を近代世界システムに組み込んでいったか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパの後発国の国民国家形成について、当時の国際情勢を交えて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ・独立後の南北対立の経緯について、それぞれの主要産業の相違に着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの経済的覇権や議会制民主主義の在り方が日本に与えた影響について、積極的に知ろうとしている。 ・イタリアやドイツの国家統一が日本の近代化と同時期であることを踏まえ、積極的に比較・検討しようとしている。 ・国民国家の統合から排除された先住民や、南北戦争後のアフリカ系住民の状況について、積極的に知ろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【イギリスの繁栄】 ・イギリスが自由貿易政策のもとで利益を増大させ、「世界の工場」と呼ばれたこと、さらには金融の中心ともなっていくことを画像史料を用いて理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
1 (1)	【後発国による「上からの近代化」】 ・イタリア・ドイツの統一の過程と、統一後の状況を理解する。 ・オスマン帝国が弱体化した背景を風刺画を用いて考察する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
3 (1)	【ロシアの近代化と南下政策】 ・皇帝アレクサンドル2世の改革及びナロードニキの運動について、それぞれの意図や特徴を理解するとともに、失敗した要因について考察する。		○		【思考・判断・表現】 提出課題
4 (1)	【アメリカ合衆国の膨張】 ・主要産業の違いが南北の対立をもたらしたことに気付かせるとともに、南北戦争の経緯やその結果国民国家としての統合がすすんだことについて理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価 【知識・技能】 提出課題 小テスト

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

アジア諸国の変貌と日本の開国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・明治維新の発展や世論の政治参加への期待やその影響についての基本的事項を、政治や社会の変化や国際社会における日本の立場などと関連付けて総合的に理解している。	・近代国家の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・日本における近代国家の展開に対する関心と課題意識を高めている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【オスマン帝国の衰退と西アジア】 ・ロシアがなぜ南下政策を推進するのか地図史料から考察する。 ・南下政策によって西アジアの情勢がどのように変化したのか理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (2)	【南アジアと東南アジアの植民地化】 ・ムガル帝国の衰退からインド大反乱に至る経緯について理解する。 ・東南アジアの植民地化によって、世界市場向けの商品作物生産が発展したことを理解する。	○			【知識・技能】 提出課題 小テスト
3 (2)	【東アジアの動揺】 ・アヘン戦争が起きた背景とその後のイギリスと清の関係性について理解する。 ・なぜアメリカが日本に開国を求めたのかその理由について考察する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
4 (2)	【東アジアの情勢と改革】 ・開港後の中国における太平天国の運動とその後の洋務運動について理解する。 ・洋務運動と明治維新の共通点と相違点について、改革の対象や改革の成否に留意しながら考察する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
5 (2)	【明治初期の日本の外交と東アジアの国際秩序】 ・日本が近代国家成立への一環としてすすめた外交政策の意図を理解する。 ・東アジアの国際関係を欧米諸国のアジア進出と関連付けて理解する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
6 (2)	【日本の立憲国家への道のり】 ・政府主導の近代化政策に対する社会の反応をたどることで、日本が立憲国家へと変貌していく過程を理解する。 ・大日本帝国憲法の成立背景と特徴について資料を読んで理解する。	○			【知識・技能】 提出課題 小テスト

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

帝国主義の発展

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・列強の世界分割や、帝国主義の展開について関心を持ち、意欲的に学んでいる。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【帝国主義の時代】 ・第二次産業革命の展開と金融資本の形成 海外に市場や原料供給地を求める帝国主義につながったことを理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (2)	【列強の世界政策】 ・ヴィルヘルム2世の意向で展開されたドイツの「世界政策」が、イギリス、ロシア、フランス、日本などの外交政策にどのように関係したかを理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
3 (2)	【日清戦争と中国分割】 ・日本が国際社会において、主権の回復をめざすためにすすめた条約改正交渉について、その達成のためには何が必要かという問題意識をもちながら考察する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
4 (2)	【日露戦争とアジア】 ・英露対立を背景として、日清戦争後の信徒列強諸国の関係の変化や、日露対立の進行の過程について理解する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
5 (2)	【日本の工業化と社会運動の高揚】 ・明治初期、欧米の進んだ技術の導入は、政府主導ですすめられたこと、その後官営工場の払い下げや貨幣制度の安定などの産業基盤の整備を経て、民間企業が設立され、工業化(産業革命)が起こったことを理解する。	○		○	【知識・技能】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
6 (2)	【日本の帝国主義と東アジア】 ・日露戦争後、急速に進行した日米対立の原因が満州にあることについて理解する。 ・日露戦争を契機として進行した日本による朝鮮半島の植民地化の過程について理解する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

第一次世界大戦と大衆社会

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・図表などを参考に、大戦の規模や拡大の様子、また戦争のもたらした惨禍などの理解に努めている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【第一次世界大戦】 ・第一次世界大戦の原因とその経過について対立軸を意識しながら理解する。 ・大戦が世界情勢にもたらした影響を理解する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
2 (1)	【ロシア革命とソ連の成立】 ・ロシア革命の原因と経過について、二月革命と十月革命の違いに注意しながら理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
3 (1)	【ヴェルサイユ＝ワシントン体制】 ・ヴェルサイユ体制の成立とその特徴について理解するとともに、主導した戦勝国の思惑や国際連盟のかかえた課題について考察する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
4 (1)	【アジア諸国の独立運動】 ・アジアにおける独立運動がどのような経過をたどったか、地域ごとの違いに留意しながら理解する。		○		【思考・判断・表現】 提出課題
5 (1)	【東アジアの民族運動と日本】 ・中国では、新聞化運動を背景として、パリ講和会議への反発から五・四運動が起こったことを理解する。		○		【思考・判断・表現】 提出課題
6 (1)	【アメリカの大衆社会】 ・大戦後のアメリカでは、空前の経済的繁栄のもと、大衆社会が大量生産・大量消費に特徴づけられる新たな局面を迎えたことを理解する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
7 (1)	【大正デモクラシーと日本社会の変化】 ・大正時代の日本で広まった「大正デモクラシー」と呼ばれる民主主義的・自由主義的な風潮について認識を深める。	○			【知識・技能】 提出課題 小テスト

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

歴史総合

1 単元名：

経済危機と第二次世界大戦

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦の勃発から太平洋戦争に至る過程について理解している。	・世界恐慌が国内経済や国際貿易に与える影響について理解し、工業生産の推移や貿易額の変化と世界恐慌の関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ファシズムの拡大の動きがどのように第一次世界大戦後の国際秩序を変化させたかについて考察し、第二次世界大戦に至るまでの結びつきを多面的・多角的に考察し、表現している。	・イタリアやドイツ、日本の第一次世界大戦後の政治状況について、現代の世界や日本と関連させながら、積極的に知ろうとしている。 ・第二次世界大戦勃発から太平洋戦争に至る国際情勢の変化について、後世への影響について考察したり、現代の国際関係と結び付けたりしながら、積極的に知ろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界恐慌】 ・世界恐慌にともない、各国で政府による経済への介入が強まったことを理解させ、それが国際協調体制を動揺させる要因となったことにきづく。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価
2 (1)	【ファシズム・軍部の台頭】 ・イタリア・ドイツがともに国民の不満や不安を背景に、一党独裁体制を築く過程を理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
3 (1)	【ファシズムの対外侵略と】 ・ドイツ・イタリアが周辺地域を侵略し、勢力を拡大していく過程を理解する。	○	○		【知識・技能】 提出課題 小テスト 【思考・判断・表現】 提出課題
4 (1)	【日中戦争の開始と戦時体制下の日本】 ・日中戦争の背景として、中国における統一の動きと日中の対立の激化、そして、国共分裂から国共合作へと向かう抗日民族統一戦線の実現過程を理解する。		○		【思考・判断・表現】 提出課題
5 (2)	【第二次世界大戦の開始】 ・ナチ＝ドイツの侵略が第二次世界大戦勃発のきっかけになったことを理解する。		○		【思考・判断・表現】 提出課題
6 (1)	【第二次世界大戦の終結】 ・ドイツ・日本による占領地域の支配の実態と、それに対する抵抗運動の広がりについて理解する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題 発問評価

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

式の計算

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ②多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。	①式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け、多面的に考察することができる。 ②パスカルの三角形と二項定理を関連付け、多面的に考察することができる。	①事象を式の計算の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②式の計算において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○整式の乗法 ・三次式の乗法公式を理解し、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (3)	○二項定理 ・パスカルの三角形と二項定理を関連付け、考察する。 ・二項定理を活用して、式の展開や項の係数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (3)	○整式の除法 ・整式同士の除法について降べきの順に整理して計算し、商と余りを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
4 (3)	○分数式 ・因数分解を利用して、分数式を既約分数式に直す。 ・因数分解を利用して、分数式を通分して計算する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

複素数と方程式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ②2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ③因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。	①日常の事象や社会の自称などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 ②因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。	①事象を複素数と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②複素数と方程式において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(13) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○複素数 ・虚数 i の定義を理解し、実数を拡張した複素数について考える。 ・複素数の四則計算や共役な複素数を利用して分母を実数に直す計算をする。 ・ i を使って、負の数の平方根を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (4)	○2次方程式 ・複素数の範囲ですべての2次方程式の解を求める。 ・判別式 D を利用し解の種類を判別する。 ・2次方程式の解と係数の関係について理解し、2つの解の和や積を求める。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○	○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (3)	○因数定理 ・剰余の定理を利用して、整式を一次式で割ったときの余りを求める。 ・因数定理を利用して、3次以上の整式を因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
4 (3)	○高次方程式 ・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解く。 ・高次方程式を解く過程を振り返り、因数定理への理解を深める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

式と証明

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①等式、不等式の基本性質や基本的な証明方法を理解している。 ②平方の大小関係について理解して証明に用いることができる。 ③相加平均と相乗平均の大小関係を理解して証明に用いることができる。	①等式や不等式を目的に応じて変形し、その式の意味を明確に表現できる。 ②2変数の不等式の証明について考察することができる。	①等式の証明方法について理解し、証明の記述をしようとする。 ②相加平均と相乗平均の関係を図形的に調べようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○等式の証明 ・恒等式の意味と、等式が恒等式となるための条件について考察する。 ・等式の証明方法について理解し、いろいろな等式の証明をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (5)	○不等式の証明 ・不等式の基本性質を確認し、不等式の証明方法について考える。 ・相加平均と相乗平均の大小関係について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

点と直線

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 2点間の距離や、内分・外分について理解している。 ② 平面上の2点間の距離や内分点と外分点の座標を求めることができる。 ③ 方程式で表された直線を図示することができる。 ④ 条件にあった直線の方程式を求めることができる。 ⑤ 2直線の平行条件や垂直条件について理解している。	① 平面上の2点間の距離の公式を用いて幾何学的な定理を考察することができる。 ② 三角形の重心を座標を用いて考察することができる。 ③ 直線の交点や垂直であるための条件などについて、方程式を用いて調べる解析幾何的な考え方ができる。	① 点と直線の距離の公式について、複雑な式変形を根気強く理解しようとしている。 ② 2直線の交点を通る直線について、多面的に考察しようとしている。 ③ グラフ描画ソフトなどを活用して、いろいろと調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(15) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○ 直線上の点 ・ 数直線上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・ 確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○			【知識・理解】 ・ 定期試験 ・ 確認テスト
2 (4)	○ 平面上の点 ・ 座標平面上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・ いろいろな図形の問題を、座標を用いて考察する。 ・ 演習プリントや問題集を解く。 ・ 確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○ ○	【知識・理解】 ・ 定期試験 ・ 確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業中の取組みの様子 ・ ノートやプリントの確認 ・ 課題プリント、問題集
3 (5)	○ 直線の方程式 ・ 直線の方程式について理解し、1点と傾きが与えられた直線の方程式を求める。 ・ 2点を通る直線の方程式を求める。 ・ 演習プリントや問題集を解く。 ・ 確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・ 定期試験 ・ 確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業中の取組みの様子 ・ ノートやプリントの確認 ・ 課題プリント、問題集
4 (4)	○ 2直線の関係 ・ 2直線の平行条件と垂直条件について考察する。 ・ 与えられた直線に平行、垂直な直線の方程式を、それぞれ求める。 ・ 点と直線の距離を求める。 ・ 演習プリントや問題集を解く。 ・ 確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・ 定期試験 ・ 確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業中の取組みの様子 ・ ノートやプリントの確認 ・ 課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

円

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①中心点の座標を用いることにより、円を方程式で表すことができる。 ②円と直線の共有点の座標を求めたり、その位置関係を分類することができる。 ③円の接線の方程式を求めることができる。 ④2つの円の位置関係を中心間の距離で分類することができる。	①図形を「条件を満たす点の集合」とする数学的な見方や考え方を認識できる。 ②円の方程式を一般形から標準形に変形するために、平方完成を用いることを着想できる。 ③円と直線の位置関係を、判別式や距離を用いて多面的に考察することができる。	①図形を「条件を満たす点の集合」とする考え方を理解し、いろいろな点に関する条件からその軌跡を求める考え方を身につけている。 ② x , y についての2次方程式と図形との関係を調べようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○円の方程式 ・条件から円の方程式を求める。 ・平方完成をし、方程式から円の中心の座標と半径を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (2)	○円と直線 ・円と直線の共有点の座標を求める。 ・円と直線の位置関係を、共有点の個数から考える。 ・円と直線の位置関係を、中心点と直線の距離から考える。 ・円の接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

軌跡と領域

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①図形を与えられた条件を満たす点の集合として考える方について理解している。 ②不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、不等式で表される領域を求めたり、逆に、領域を不等式で表したりすることができる。 ③連立不等式の表す領域を図示できる。	① x, y についての不等式を座標平面上の点の集合として図示する考え方を認識できる。 ② x, y の1次式がとる値の最大値や最小値は領域を調べればよいことを理解して考えることができる。	①アポロニウスの円についてさらに詳しく調べようとしている。 ②領域を求めたり確かめたりするのに、代表となる点について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○軌跡と方程式 ・与えられた条件を満たす点全体の描く図形を、方程式を用いて表す。 ・軌跡を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (2)	○不等式の表す領域 ・直線や円を境界にもつ点の集合について理解する。 ・領域が不等式で表されることを理解する。 ・不等式の表す領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (2)	○連立不等式の表す領域 ・領域を確かめるために、代表となる点をとって調べる。 ・連立不等式の表す領域の意味を理解し、その領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

三角関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ②三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ③三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	①弧度法について理解して、弧度法と度数法の変換をすることができる。 ②三角関数の値の変化やグラフの特徴について考察することができる。 ③三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	①三角関数のグラフを活用して、周期や最大・最小などの基本的な性質を考察しようとしている。 ②三角関数を含む不等式を解くのに、グラフによる解法についても調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○一般角と弧度法 ・角の概念を一般角に拡張し、角の大きさを動径の回転量として考える。 ・弧度法と度数法の違いを理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (5)	○三角関数の性質 ・三角関数の定義について理解する。 ・三角関数の相互関係を理解し、1つの値から他の2つの値を求める。 ・三角関数の周期性について調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (4)	○三角関数のグラフ ・単位円を用いて、三角関数のグラフをかく。 ・グラフから、三角関数の周期性や対称性を考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
4 (2)	○三角関数を含む方程式・不等式 ・単位円を用いて、三角方程式について考察する。 ・単位円やグラフを用いて、基本的な三角方程式や不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

加法定理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角関数の加法定理や2倍角の公式、半角の公式について理解している。 ②三角関数の合成について理解している。	①2直線のなす角についてタンジェントの加法定理を用いて解くことができる。 ②合成した三角関数の最大値や最小値を求めたり、その方程式を解くことができる。	①和と差の公式について調べようとしている。 ②三角関数を含む方程式について、グラフを用いて多角的に調べようとしている。 ③グラフ描画ソフトなどを活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○加法定理 ・加法定理を理解し、 15° などの特別な角の三角関数の値を求める。 ・2直線のなす角を、加法定理を用いて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (1)	○加法定理の応用 ・加法定理から2倍角の公式を導く。 ・三角関数の合成の考え方を理解し、関数の最大値や最小値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

指数関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①累乗や累乗根の定義を正しく理解している。 ②指数を有理数に拡張する意義を理解し、指数法則を用いて、指数計算ができる。 ③指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	①指数関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、指数関数の値の変化やグラフの特徴について考察できる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③指数関数を含む方程式や不等式を解くには底を揃える必要があることを認識している。	①指数が拡張されていく過程に興味、関心を示す。 ②指数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○指数の拡張 ・指数が実数のときにも指数法則が成り立つことを理解する。 ・累乗や累乗根の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (4)	○指数関数 ・指数関数のグラフの特徴を考察する。 ・指数関数を含む方程式や不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

対数関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算や底の変換ができる。 ②対数関数の値の変化やグラフの特徴を理解している。 ③常用対数を活用して、桁数などを求めることができる。 ④対数を含む方程式・不等式を解くことができる。	①指数と対数を相互に関連付けて考えることができる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③対数関数を含む方程式や不等式を解くときにも底を揃える必要があることを認識している。 ④常用対数を利用して、小数の位を考察することができる。	①常用対数と桁数の関係を一般の場合について調べようとしている。 ②常用対数と小数の位の関係を一般の場合について調べようとしている。 ③対数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○対数とその性質 ・対数の定義を理解し、対数の値を求める。 ・底の変換公式を用いて、対数の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (5)	○対数関数 ・対数関数のグラフを理解し、指数関数との関連を考える。 ・対数方程式や対数不等式を解く。 ・常用対数を用いて、桁数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

微分係数と導関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①導関数の定義を理解して計算することができる。 ②導関数の線形性を理解して求めることができる。 ③導関数と微分係数の関係を理解している。 ④微分係数を用いて接線の方程式を求めることができる。	①微分係数の図形的意味を考察できる。 ②変数に関係なく、導関数を求めることができる。 ③接点を仮定して、接線を考察することができる。	①導関数のグラフと元の関数のグラフについて多角的に調べようとしている。 ②グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○平均変化率と微分係数 ・関数の平均変化率および微分係数について理解する。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (2)	○導関数 ・導関数の定義を理解し、いろいろな関数の導関数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (1)	○接線の方程式 ・接線の傾きと微分係数の関連を考える。 ・曲線に接する接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

微分法の実用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ②方程式や不等式の解について、グラフとx軸との位置関係から調べられることを理解している。	①導関数を活用して、関数の増減を考察することができる。 ②極値と端点の値から、最大値や最小値を考察することができる。 ③極値と関数の決定の関係について考察することができる。	①グラフ描画ソフトなどを用いて、つねにグラフを確認しようとしている。 ②方程式 $f(x)=a$ の実数解の個数について、グラフを用いるなど多面的な方法で理解を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	○関数の増減と極大・極小 ・導関数を利用して関数の増減を調べ、3次関数のグラフをかく。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (4)	○方程式・不等式への応用 ・関数のグラフとx軸や直線の位置関係を調べる。 ・関数のグラフを利用して、異なる実数解の個数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

積分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分の値が求められる。 ②定積分と微分の関係を用いて関数を決定する方法を理解している。 ③定積分と面積の関係を用いて、関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。	①微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 ②微分と不定積分の関係を用いて、積分の公式を考察しようとする。 ③面積を表す量として定積分をとらえることができる。	①定積分と微分の関係について、多面的に調べようとしている。 ②絶対値を含む関数の定積分について多角的に調べようとしている。 ③3次関数のグラフと面積について多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○不定積分 ・不定積分を微分の逆演算として理解し、不定積分を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
2 (4)	○定積分 ・定積分の定義を理解し、定積分の値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集
3 (4)	○定積分と面積 ・定積分と面積の関連について、多角的に考察する。 ・定積分を用いて、曲線や直線で囲まれた図形の面積を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集

1 単元名：

① 数列とその和

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。	事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。	①事象を数列とその和の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②数列とその和において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○数列 ・数列の一般項を n を使って表す。 ・一般項から初項から第 k 項まで求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○等差数列 ・等差数列の規則性を理解し、初項と公差から一般項を求める。 ・等差数列の性質を利用し、等差中項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○等差数列の和 ・等差数列の性質を利用し、初項から第 n 項までの和を求め方を理解する。 ・等差数列の初項や末項、公差、項数から等差数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

4 (2)	<p>○等比数列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の規則性を理解し、初項と公比から一般項を求める。 ・等比数列の性質を利用し、等比中項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
5 (3)	<p>○等比数列の和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の性質を利用し、初項から第 n 項までの和を求め方を理解する。 ・等比数列の初項や末項、公比、項数から等比数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

② いろいろな数列

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。	事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。	①事象をいろいろな数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②いろいろな数列において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○数列の和と Σ 記号 ・自然数の2乗の和の求め方と理解し、和の公式を利用する。 ・ Σ 記号の意味や使い方を理解し、和を求める。 ・ Σ 記号の性質を使い、いろいろな数列の和を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○階差数列 ・階差数列を利用して、等差数列でも等比数列でもない数列の一般項を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○	○ ○		【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り
3 (3)	○数列の和と一般項 ・数列の和 S_n を利用して一般項 a_n を求める。 ・分数式を部分分数に分解することで、数列の和を求める。 ・数列の和 S_n を工夫して計算する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

1 単元名：

③ 漸化式と数学的帰納法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ②数学的帰納法について理解している。	自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。	①事象を漸化式と数学的帰納法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②漸化式と数学的帰納法において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○漸化式 ・漸化式で定められている数列の各項を計算して求める。 ・漸化式で定められている数列の一般を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○ ○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○数学的帰納法 ・数学的帰納法の仕組みを理解し、自然数に関する命題を証明する。 ・数学的帰納法を用いて、等式や不等式について証明する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○	○ ○		【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

④ 確率分布

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①標本調査の考え方について理解している。 ②確率変数と確率分布について理解している。	確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。	①事象を確率分布の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②確率分布において問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○確率変数と確率分布 ・確率変数と確率分布の関係を理解し、表にまとめる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○		○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (6)	○確率変数の期待値と分散 ・数学Ⅰ「データの分析」や数学A「確率」の学習内容を復習する。 ・確率変数の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・確率変数 X に対して、 $aX + b$ や X^2 の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○	○ ○		【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り
3 (4)	○確率変数の和と積 ・確率変数の和の期待値を求める。 ・独立な確率変数の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○	○	【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

1 単元名：

⑤ 二項分布と正規分布

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。	二項分布や正規分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。	①事象を二項分布や正規分布の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②二項分布や正規分布において問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○二項分布 ・数学Aで学習した「反復試行の確率」や数学Ⅱで学習した「二項定理」と二項分布の関係を理解する。 ・二項分布の期待値や分散、標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○		○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (6)	○正規分布 ・正規分布曲線の性質について理解する。 ・正規分布表を用いて、標準正規分布に従う確率変数の確率を求める。 ・確率変数の標準化する。 ・正規分布の性質について理解する。 ・二項分布と正規分布による近似について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り 【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学B

1 単元名：

⑥ 統計的な推測

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。	①目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ②標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	①事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②統計的な推測において問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○母集団と標本 ・全数調査と標本調査の違いについて理解する。 ・無作為抽出法の違いについて理解する。 ・母集団における母平均、母分散、母標準偏差について求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○		○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (5)	○標本平均の分布 ・標本の分布と母集団の分布の関係について理解する。 ・標本平均の期待値と標準偏差を求める。 ・標本平均の分布と正規分布の近似について理解する。 ・大数の法則について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○	○	【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り 【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集
3 (6)	○統計的な推測 ・信頼度 95% の信頼区間における母平均の推定について理解する。 ・母比率と標本比率について理解する。 ・仮説検定の考え方を理解し、定められた有意水準における仮説を立証することができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○		○	【知識・技能】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・定期試験 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

物体の運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物体の運動について、実験、観察を通して探求し、速度、加速度と落下運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物体の運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・速度についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・加速度についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・落下運動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

運動の法則

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の法則について、実験、観察を通して探求し、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	運動の法則について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	運動の法則に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・力の合成・分解やつりあいについての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の3法則についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動方程式についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
5 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・摩擦を受ける運動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

仕事と力学的エネルギー

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
仕事と力学的エネルギーについて、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	仕事と力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と仕事率についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動エネルギーについての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○	○	【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・位置エネルギーについての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・力学的エネルギーについての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○		○	【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

熱とエネルギー

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
熱について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	熱について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換と保存についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

波の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
波と音波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	波と音波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	波と音波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・波の表し方と波の要素についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・波の重ね合わせと反射についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・音波の性質についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
6 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の振動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

静電気と電流

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
静電気と電流について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	静電気と電流について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	静電気と電流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静電気についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電流と抵抗についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気エネルギーについての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

電流と磁場

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電流と磁場に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磁場についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ モーターと発電機についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流と電磁波についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

科目名：

1. 単元名：

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3. 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)					
2 (1)					
3 (1)					
4 (1)					

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

生物の特徴

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解しており、原核細胞と真核細胞の違いについても、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。	資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだして表現したり、細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察している。	細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察している。

3. 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○生物の多様性 ・生物は共通の祖先が進化して多様化したことを理解する。 ○生物の共通性 ・すべての生物は細胞からできており、DNAによる細胞の複製、代謝、恒常性を保つことができる共通性を持つことを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○細胞の構造と働き ・細胞には、核をもたない原核細胞と、核をもつ真核細胞があること、真核細胞の内部には細胞小器官があることを理解する。また、その機能も理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (2)	○細胞を構成する物質 生体を構成する各物質の主な役割を理解する。 ○単細胞生物と多細胞生物 単細胞生物の共通性と相違性について理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○顕微鏡による細胞の観察 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得する。 ○生物の多様性と共通性の振り返り 振り返りシートにより学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

細胞とエネルギー

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 実験において、試験管や薬品を扱う技能を習得している。	呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。また、体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○代謝とエネルギー ・代謝 体内での化学反応の過程全体を代謝といい、同化と異化の違いを理解する。 ・エネルギーとATP 同化と異化に伴うエネルギーの出入りにはATPが仲立ちをすることと、その仕組みを理解する。	○			【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○酵素 ・触媒と酵素 自身は変化せず、繰り返し特定の化学反応を促進する物質を触媒ということ、生体触媒を酵素ということを理解する。 触媒と酵素の性質を理解する。	○			【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○触媒と酵素の実験 試験管や薬品を扱う技能を習得する。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	○	○		【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 ・提出課題の確認 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○光合成と呼吸 光合成と呼吸の仕組みと関係を理解する。 呼吸と光合成からエネルギーを得る方法を関連づけて考察し、表現できる。 ○細胞とエネルギーの振り返り 振り返りシートにより学習を振り返る。		○	○	【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

遺伝子とその働き

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報とDNAについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○遺伝情報と形質 親の形質を受け継ぐ遺伝は、遺伝情報であるDNAによって担われていることを理解する。また、有性生殖により、同じ生物種であっても個体差が生じることを知る。 ○DNAと染色体、ゲノム 真核生物では、DNAが染色体の成分として存在することを理解し、相同染色体とは何かを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・DNAモデルの作成と考察 ・定期試験
2 (2)	○DNAが複製される仕組み ・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製は正確に行われることを理解する。 ○細胞の分裂とDNA ここまで学習した用語を使って、DNAの構造を図で整理してみる。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○遺伝子の本体を調べた実験 各研究者の研究を通して、明らかになってきた事実を理解するとともに、研究方法と論理的な考え方を学ぶ。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○遺伝子の発現、タンパク質の合成 アミノ酸とタンパク質の流れ、DNAとRNAの違い、セントラルドグマについて理解する。個々の事象ではなく、全体の流れを掴み、細切れにならないように注意して学習する。	○		○	【知識・技能】 ・課題の記述内容 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

体内環境

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○体内環境と体液の関係について理解する。 ○消化管や気管は体内にありながら、その内腔が外界との境界であることから体外環境として分類されることを理解する。 ○フィードバックによって、体内環境の恒常性が維持されていることを理解する。 ○情報伝達の経路には神経系・循環系・内分泌系があることを知る。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○体内環境と体液の関係について理解する。また、各体液の役割を理解する。 ○血液に関しては、血液循環そのものと心臓、血管といった循環系の構造と働きについて理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○酸素の運搬とヘモグロビンの役割を学び、生体内各所の酸素濃度との関係を理解する。 ○血液凝固の仕組みを理解する。また、血清、血ぺいについて整理する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○腎臓の構造や塩類濃度の調節のしくみを理解し、ろ過や再吸収といった働きを体系的に説明することができる。 ○腎臓を観察し、構造や働きを理解するとともに、扱う技能を習得している。 ○肝臓のしくみを肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。		○	○	【思考・判断・表現】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

体内環境の維持の仕組み

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ○ヒトの体液濃度の調節には腎臓が関わるが、その腎臓の働きも自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ○神経系の分類と役割を知り、交感神経系と副交感神経系の拮抗的な働きを理解する。 	○			【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。 ○間脳の視床下部がホルモン分泌の中核として機能することを理解する。 ○ホルモンが細胞に受容され、機能するしくみについて理解を深める。 ○ホルモンの分泌量がフィードバックによって調節されていることを理解する。 	○	○		【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○自律神経系と内分泌系の働きにより、血糖濃度の調節を一例として、体内環境が一定に保たれていることを理解する。 		○		【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○血糖濃度の調節を学んだ上で、糖尿病の発症のメカニズムと症状について理解する。 ○健康なヒトと、糖尿病患者のグラフを見比べ、そこで知識をもとに、なぜそのようなグラフが描けるのかを考えていく。 	○		○	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

免疫

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	免疫のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解する。 ○三段階の生体防御の概要を学び、どのような段階を踏むのかを理解する。	○			【知識・技能】 ・ 定期試験
2 (2)	○免疫応答の概要と、免疫にかかわる細胞や器官を説明できる。	○			【知識・技能】 ・ 定期試験
3 (3)	○自然免疫について扱い、体内への異物の侵入を防ぐ防御機構を理解する。また、その異物に対して、非特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○食作用や炎症について学び、具体的な現象を確認するとともに、自らの体験と照らし合わせて理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ 課題の記述内容を確認 ・ 定期試験 【思考・判断・表現】 ・ 課題の記述内容を確認 ・ 定期試験
4 (3)	○獲得免疫について扱い、体内に侵入した異物に対して特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○同じ疾患に二度かかりにくい理由に気づき、その応用例を説明できる。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ 課題の記述内容を確認 ・ 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 課題の記述内容を確認 ・ 定期試験
5 (2)	○免疫が医療に応用されていることを理解する。 ○免疫が過敏に働く疾患や免疫の機能が低下する疾患の仕組みを理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ 課題の記述内容を確認 ・ 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

植生と遷移

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植生と遷移について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	植生と遷移について、観察、実験などを通して探求し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。	植生と遷移に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○生態系とその成り立ち ・生物と環境がどのように関係しているかを理解している。また、生態系がどのように成り立っているかを説明できている。 ○植生とその変化 ・植生とはどのようなもので、どのように分類されるか説明できるようにする。 ・植生に影響を与える要因を見だし、どのように影響しているかを理解している。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○遷移のしくみ ・遷移とは何か、どのように進むかを理解している。 ・遷移の進行を、その要因を踏まえて説明できる。また、乾性遷移と湿性遷移、一次遷移と二次遷移の違いについても説明できるようにする。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○世界のバイオームとその分布 ・世界のバイオームの分布と気象条件との関係を理解できている。また、世界のバイオームの分布を植生の遷移と関連付けて説明できる。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (1)	○日本のバイオームとその分布 ・日本のバイオームの分布の特徴を理解する。 ・気温と降水量について理解し、水平分布と垂直分布の関係性を説明できる。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

生態系とその保全

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、生態系のバランスとその保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生態系とその保全について、観察、実験などを通して探求し、生態系における、生物の多様性および生物と環境との関係性を見いだして表現している。	生態系とその保全に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○生物の多様性 ・生態系には多様な生物種が存在することを見出して理解している。 ・生態系によっては生物多様性の程度が異なることを理解している。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○生物どうしのつながり ・生態系内の生物どうしのつながりを理解している。 ・生物の多様性と生物どうしのつながりとを関連付けて説明できている。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○生態系のバランス ・生態系は変動しても一定の範囲内でバランスが保たれることを理解している。また、それでも大規模な攪乱によっては生態系のバランスが崩れてしまうことを説明できている。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○人間活動による環境への影響 ・生態系のバランスに及ぼす人間生活の影響を理解している。また、そのバランスを保つための人間の活動を説明できている。 ○生物多様性への影響と生態系の保全 ・生態系の保全の必要性を理解し、その重要性を認識している。 ・自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。	○		○	【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

体づくり運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、話合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができる。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・ 体ほぐしの運動 誰もが簡単に取り組むことができる運動、仲間と協力して楽しくできる運動、心や体が弾むような軽快な運動			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認
2 (3)	・ 実生活に生かす運動の計画 のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

サッカー

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。 ②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ③見方が操作しやすいパスを送ることができる。	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。 ②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

卓球

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ハンドボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。 ②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ③見方が操作しやすいパスを送ることができる。	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。 ②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ルール説明 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する 	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

バドミントン

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (1)	・ラケット操作 ・ポジションの役割に応じたラケットの操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にシャトルをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

バレーボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (1)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ソフトボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。 ②タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ③捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを取ることができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ボール操作 ・移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へステップを踏みながらボールを投げること、仲間からの送球を塁上でタイミングよく受けたり、仲間の送球を中継したりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・身体の軸が安定した一連のスイング動作で、タイミングを合わせてボールを打ち返す	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開する		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ダンス

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめることができる。 ②緩急強弱のある動きや空間の使い方や場面の転換などで、変化を付けたひと流れの動きにすることができる。	①それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。 ②選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 ②一人ひとりの違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・オリエンテーション ・ダンス種類説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (1)	体幹部でリズムをとって全身で自由に弾んで踊ることを発展させ、体の各部位の動きをずらしたり連動させたりして踊ることや、ダイナミックなアクセントを加えたり違うリズムを取り入れたりして、変化を付けて連続して踊る		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (2)	・ロックやヒップホップなどのリズムに合った曲を、グループごとに選曲させる。一人一人の能力を生かす動きや相手と対応する動きなどを取り入れながら、仲間と関わりをもって踊る	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (2)	・仲間やグループ間で、簡単な作品を見せ合う発表		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

体育理論

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったことについて具体例を挙げている。	①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。	①スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	・運動、スポーツの学び方				【知識・技能】 ・知識テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

保健

1 単元名：

生涯を通じる健康

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活についての学習に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(16) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (16)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期と健康 ・ 結婚生活と健康 ・ 加齢と健康 ・ 労働災害と健康 ・ 期末試験 	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の確認 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

保健

1 単元名：

健康を支える環境づくり

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活についての学習に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (14)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境と健康 ・ 食品と健康 ・ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ・ 様々な保健活動や社会的対策 ・ 健康に関する環境づくりと社会参加 ・ 期末試験 	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の確認 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト

1. 題材名：

歌声を響かせる
A表現（1）歌唱、B鑑賞（1）鑑賞、[共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【知識・歌唱イ（イ）】</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ（ウ）】</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

（ 11 ）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
	楽曲の特徴を感じ取りながら鑑賞する。		○		【思考・判断・表現】 振り返りシート
2(4)	旋律やリズムを感じ取りながら歌唱する。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
	歌唱に必要な用語、記号について学習する。	○ 知			【知識・技能】 活動観察
3(4)	歌詞の内容について考察し、どのように表現するか意識する。		○		【思考・判断・表現】 振り返りシート
4(2)	楽曲の特徴を捉えながら、歌唱で表現するとともに、他者と比較する。	○ 知技	○		【知識・技能】 グループ別発表 【思考・判断・表現】 グループ別発表
	ほかの文化、歴史をもった歌唱曲を鑑賞し、音楽の多様性を感じ取る。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

1. 題材名：

ヴァイオリンにチャレンジ
A表現(2) 器楽 B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ヴァイオリンに関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ(ア)】</p> <p>楽譜の読み方を理解し、ヴァイオリンの演奏に必要な運指やボウイング、奏法、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ(ア)】</p>	<p>ヴァイオリンの特徴を捉えてヴァイオリンの演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>ヴァイオリンの音色や弦楽器の特徴に興味を持ち、主体的・協働的にヴァイオリンの演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	ヴァイオリンの歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、ヴァイオリンの演奏を鑑賞する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
2(3)	楽器の扱い方、構え方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
	弦の押さえ方や運指、ボウイングについて学習し、練習しながらヴァイオリンの奏法を身に付ける。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
3(6)	「きらきら星」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。		○		【思考・判断・表現】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
4(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

1. 題材名：

ボディー・パーカッション「ROCK TRAP」
A表現（2）器楽 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
拍子やリズムに関する楽典の知識を身に付け、拍子やリズムと曲想との関わりについて理解して演奏している。 【知識・器楽イ（イ）】 ボディー・パーカッションの奏法などの技能を身に付け、パートごとの役割を理解しながら、他者との調和を意識して演奏している。 【技能・器楽ウ（イ）】	曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、グループで意見を交換しながら、他者と協働してボディー・パーカッションの活動に取り組んでいる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
	ボディー・パーカッションに必要な用語、記号について学習する。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
2(5)	「ROCK TRAP」の演奏を鑑賞し、曲の特徴を感じる。		○		【思考・判断・表現】 振り返りシート
	学習した用語、記号について確認する。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
	個人練習をする。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
3(4)	グループ発表に向けて練習する。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
			○		【思考・判断・表現】 ワークシート
4(1)	グループで演奏を発表し、自分の活動を振り返る。	○ 知技			【知識・技能】 グループ別発表
			○		【思考・判断・表現】 グループ別発表
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

1. 題材名：

ハーモニーを感じて歌おう
A表現(1)歌唱 B鑑賞(1)鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【知識・歌唱イ(イ)】</p> <p>創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、ハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ(ウ)】</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>各声部の役割やテクスチャの変化を考えて合唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	歌唱に必要な用語、記号について学習する。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
2(2)	「上を向いて歩こう」の上下パートの音取りをする。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	「上を向いて歩こう」について、上下パートに分かれて歌唱する。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
3(5)	「うたをうたうとき」の各パートの音取りをする。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	学習した用語、記号について確認する。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
	「うたをうたうとき」について、各パートに分かれて歌唱する。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
4(2)	「うたをうたうとき」の歌詞の内容について考察し、どのように表現するか意識する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
5(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や技能を生かして歌唱することができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

1. 題材名：

ピアノ五重奏「ます」を聴こう
B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 【知識・鑑賞イ（ア）】	ピアノ五重奏の楽器のそれぞれの音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって楽曲を鑑賞している。	ピアノ五重奏の楽器や、シューベルトの生きた時代とその歴史背景を理解することに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	鑑賞に必要な用語、記号について学習する。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
2(1)	ピアノ五重奏の楽器について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
	それぞれの楽器の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見を交換する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
3(1)	「ます」を鑑賞する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	楽曲の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見や感想を交換する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

音楽Ⅱ

1. 題材名：

キーボードで作曲にチャレンジ
A表現（2）器楽（3）創作

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>楽譜の読み方やコードネームに関する知識を身に付け、コードネームの仕組みを理解している。 【知識・器楽イ（ア）】</p> <p>キーボードの演奏に必要な運指や体の姿勢などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ（ア）】</p>	コードネームに関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	キーボードの演奏やコードネームに興味を持ち、主体的・協働的にキーボードの演奏及び創作の学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	キーボードの扱い方、運指、楽譜の読み方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
2(2)	コードネームについて学習し、トライアドコードとセブンスコードの仕組みを理解する。「さんぽ」を練習し、コードネームの演奏に慣れる。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
3(9)	コードネームの知識を活かして創作の活動に取り組む。		○		【思考・判断・表現】 活動観察、作品提出
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
5(1)	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
6(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。		○		【思考・判断・表現】 振り返りワークシート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

指導と評価の計画

教科名：

芸術（美術）

科目名：

美術Ⅱ

1 題材名：

自画像 アクリル着彩

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】 自分の顔をよく観察し骨格や面の向きを理解している。 【技】 アクリル絵の具の色や質感を生かし、表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現している	【発】 自己の内面を見つめ主題を生成し、人物や背景の見せ方を考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【鑑】 画家たちの作品を鑑賞し、表現の多様性を感じ取り、自画像の見方や感じ方を深めている。	【態表】 主体的に自己を見つめ、自画像の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 【態鑑】 主体的に自画像作品のよさなどを感じ取り、発想や構想の独自性を表現の工夫などについて多様な視点から考える鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

3 題材の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞】 ・画家の描いた自画像を鑑賞し、制作意図や作者の人間性について考えをめぐらせて、自画像についての見方や考え方を深め制作の見通しをもつ。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
2 (2)	【発想や構想】 ・自己の内面を見つめ主題を生成し、自分らしい表現の構想を練る。	○知	○発		【知識・技能】 ・作品 【思考・判断・表現】 ・作品
3 (9)	【制作】 ・アクリル絵の具を使用して下描きをする。 ・鏡を見て、顔をよく観察しながら色を重ね、自分らしく表現していく。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

芸術（美術）

科目名：

美術Ⅱ

1 題材名：

ペン画 しおりのデザイン

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】 ペンの扱い方や表現のバリエーションを知り、白黒で表現する方法の見通しをもっている。 【技】 線や白黒の美しさを生かしたペン画表現方法を追求し、個性豊かで創造的に表現している。	【発】 沖縄の情報を集め、修学旅行しおりとして親しみやすいデザインの構想を練っている。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、デザインを使う側の視点からとらえ、作品に対する見方や感じ方を深めている。	【態表】 ペン画の制作に興味をもち、主体的に資料を集め表現をしている。 【態鑑】 主体的に他者のよさなどを感じ取り、発想や構想の独自性を表現の工夫などについて多様な視点から考える鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

3 題材の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞】 ・さまざまなデザインを鑑賞し、上鶴間高校の修学旅行のしおりにふさわしい表現を考え、制作の見通しをもつ。	○知		○態鑑	【知識・技能】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
2 (1)	【発想や構想】 ・沖縄の情報を集め、修学旅行しおりのデザインの構想を練る。		○発	○態表	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (8)	【制作】 ・鉛筆で薄く下描きをして、ペンで着色していく。	○技		↓	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

美術Ⅱ

1. 題材名：

コラグラフ 自分のすきなもの（版画）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 いろいろな種類の版画作品を鑑賞し、技法についての理解を深め、見方や感じ方を深めている。 技 素材の質感を見極め、創意工夫をして表現をしている。	発 素材の形や組み合わせを試行錯誤して、版画表現のイメージを膨らませている。 鑑 自分の制作を振り返り、他者の作品を鑑賞することを通して版画表現のよさや美しさを味わい自分の言葉で表現している。	態表 版画表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。 態鑑 意欲的に他者の作品を鑑賞し、技法の美しさや、表現のよさを味わおうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【発想や構想】 ・参考作品を鑑賞し、制作の流れを理解する。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (6)	【制作①】 ・自分の身近なものから発想を膨らませて下絵を描く。 ・表現意図に応じて素材を選択し、コラージュをして版を作る。	○技	○発		【知識・技能】 ・作品 【思考・判断・表現】 ・作品 ・活動の様子
3 (2)	【制作②】 ・プレス機で印刷をする。			○態表	【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート ・活動の様子

1. 題材名：

鎌倉彫で鍋敷きをつくろう

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技 日本の伝統的な技法を鑑賞し表現の美しさや技法について理解を深め、創意工夫をして表現している。 知 日本の伝統工芸とは何かを確認し、鎌倉彫の歴史や伝統についての知識を深め理解している。	発 鎌倉彫らしい表現や構図について考え、主題を生成しようとしている。 鑑 自分の制作を振り返り、他者の作品を鑑賞することを通して鎌倉彫のよさや美しさを味わい自分の言葉で表現している。	態表 木彫の表現に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞①】 ・鎌倉彫の鑑賞をして、作品の特徴を理解する。 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (1)	【発想や構想】 ・先人たちの図案を参考にしながら、自分らしい鎌倉彫のデザインを考える。		○発		【思考・判断・表現】 ・ワークシート
3 (8)	【制作①】 ・印刀・平刀を用いてモチーフを浮き彫りにする。 ・やすりで表面を整える。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品
4 (3)	【制作②】 ・塗料を塗って表面を磨く。	↓		↓	【知識・技能】 ・作品
5 (1)	【鑑賞②】 ・自分の制作を振り返り、制作ノートに記入をする。 ・完成した作品を相互鑑賞する。		○鑑		【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

美術Ⅱ

1. 題材名：

もし自分が食べ物だったら（絵画・塑像）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 今まで取り扱ってきた素材の特性を理解して、自分の表現意図にあった描画材料を選択する。 技 配色や描き込み、作り込みを意識しながら自分の得意な表現を探究し創造的に表現している。	発 自己の内面を見つめ、食べ物との組み合わせから構図を考え、作品の構想を練る。 鑑 他者の作品を鑑賞し、絵画・立体表現のよさや美しさを味わい、見方や感じ方を深めている。	態表 自ら画材を選び表現することに関心を持ち積極的に制作にとりくんでいる。 態鑑 意欲的に他者の作品を鑑賞し、よさや個性を味わおうとしている。

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

kihon	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【導入】 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (2)	【発想・構想】 ・与えられたテーマをもとに自分なりのアイデアを考え、表現意図に応じて画材を選択し、作品の構想を練る。		○発	○態表	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
2 (10)	【制作】 ・絵画か立体のどちらかを選択し、創意工夫をしながら制作を進めていく。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson1 Play Me, I'm Yours					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて話されたり書かれたりした説明文を、聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] “Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	パフォーマンス 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] “Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトと人々・社会とのかわりについて調べ、論理的に伝えている。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて調べ、その効果などについて論理的に伝えている。	パフォーマンス 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] “Play Me, I'm Yours”プロジェクトについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトと人々・社会とのかわりについて調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えている。	“Play Me, I'm Yours”プロジェクトと人々・社会とのかわりについて調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5 9	<ul style="list-style-type: none"> ● “Play Me, I’m Yours”プロジェクトに対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● “Play Me, I’m Yours”プロジェクトについて、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● “Play Me, I’m Yours”プロジェクトについて、聞いたり読んだりして 必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● “Play Me, I’m Yours”プロジェクトについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 ストリートピアノについて調べ、自分の考え、気持ちなどとともに話して伝える。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson2 Ethical Fashion					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識]文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	ファストファッションとエシカルファッションについて話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	ファストファッションとエシカルファッションについて話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能]エシカルファッションについて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識]情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	エシカルファッションについて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	エシカルファッションについて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	振り返りの記述 活動の観察	
	[技能]エシカルファッションについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識]情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	エシカルファッションについて調べ、その効果などについて論理的に伝えている。	エシカルファッションについて調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。	パフォーマンス テスト	
	[技能]パブリックアートについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
書くこと	[知識]情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	エシカルファッションについて調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えている。	エシカルファッションについて調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	パフォーマンス テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能]情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 9	<ul style="list-style-type: none"> ● エシカルファッションに対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● エシカルファッションについて、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● エシカルファッションについて、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● エシカルファッションについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 エシカルファッションについての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson3 One for All, All for One					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	リーチマイケル選手について話されたり書かれたりしたインタビューの内容を、聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えている。	リーチマイケル選手について話されたり書かれたりしたインタビューの内容を聞いた、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] リーチマイケル選手について話されたり、書かれたりしたインタビューの内容を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	リーチマイケル選手について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	リーチマイケル選手について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] リーチマイケル選手について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	リーチマイケル選手について調べ、調べた内容を相手が理解しやすいように伝えられている。	リーチマイケル選手について調べ、調べた内容を相手が理解しやすいように伝えようとしている。	パフォーマンステスト	
	[技能] リーチマイケル選手について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	リーチマイケル選手について調べ、その生き方などについて論理的に書いて伝える。	リーチマイケル選手について調べ、その生き方などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 { 9	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ選手に関して興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● リーチマイケル選手について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● リーチマイケル選手について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● リーチマイケル選手について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 リーチマイケル選手とラグビーの関係についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson4 Vending Machines					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	日本や世界の自動販売機について話されたり書かれたりした記事を、聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えている。	日本や世界の自動販売機について話されたり書かれたりした記事を、聞いたり読んだりして、概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 日本や世界の自動販売機について話されたり書かれたりした記事を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	パフォー マンス テスト	
	[技能] 日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	日本や世界の自動販売機について、情報や考え、気持ちなどを話して伝えている。	日本や世界の自販機について調べ、その生き方などについて論理的に書いて伝えようとしている。	パフォー マンス テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 日本や世界の自動販売機について論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 { 9	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本や世界の自販機に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 日本や世界の自販機について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 日本や世界の自販機について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 日本や世界の自販機について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 日本や世界の自販機についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson5 Design for Connecting Society: Braille Neue					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 助動詞＋受け身，S＋V＋C [分詞]，S＋V＋O [if 節]，It seems [appears]＋that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>助動詞＋受け身，S＋V＋C [分詞]，S＋V＋O [if 節]などの理解を基に，ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューの内容を詳細に聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>情報や自分の考えをまとめるために，ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューから，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を整理して把握している。</p>	<p>情報や自分の考えをまとめるために，ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューから，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を整理して把握しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>	
(やり取り) 話すこと	<p>[知識]助動詞＋受け身，S＋V＋C [分詞]，S＋V＋O [if 節]，It seems [appears]＋that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]ブレイルノイエの利点と可能性について，助動詞＋受け身，S＋V＋C [分詞]，S＋V＋O [if 節]などの多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えを整理し，詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p>	<p>友達の意見を知り，自分の考えをまとめるために，ブレイルノイエの利点と可能性について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，詳しく話して伝え合うやり取りをしている。</p>	<p>友達の意見を知り，自分の考えをまとめるために，ブレイルノイエの利点と可能性について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，詳しく話して伝え合うやり取りをしようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>	
(発表) 話すこと	<p>[知識]助動詞＋受け身，S＋V＋C [分詞]，S＋V＋O [if 節]，It seems [appears]＋that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>クラスの友達に紹介するために，ブレイルノイエの利点と活用方法について，聞いたり読んだりしたことを活用し，使われている例を</p>	<p>クラスの友達に紹介するために，ブレイルノイエの利点と活用方法について，聞いたり読んだりしたことを活用し，使われている例を挙げなが</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	

指導と評価の計画

	[技能]ブレイルノイエの利点と活用方法について、助動詞＋受け身，S＋V＋C[分詞]，S＋V＋O[if節]などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。	挙げながら、自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。	ら、自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	
書くこと	<p>[知識]情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。</p> <p>[技能]情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>	ブレイルノイエの利点と活用方法についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用し、使われている例を挙げながら、自分の考えを整理し、発表用の原稿を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。	ブレイルノイエの利点と活用方法についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用し、使われている例を挙げながら、自分の考えを整理し、発表用の原稿を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述活動の観察

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントに対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ユニバーサルデザインフォントについて、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ユニバーサルデザインフォントについて、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ユニバーサルデザインフォントについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 3 ～ 1 4	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 ブレイルノイエが使われている例を調べ、教科書を参考に情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson6 New Banknotes					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] It + is[was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	新紙幣に関する記事を聞いたり読んだりして知識を深めるとともに、他社の意見を知り、情報や自分の考えをまとめるために、キャッシュレス社会に対する賛成・反対の意見を述べている会話から、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。	新紙幣に関する記事を聞いたり読んだりして知識を深めようとしている。 他者の意見を知り、情報や自分の考えをまとめるために、キャッシュレス社会に対する賛成・反対の意見を述べている会話から、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] It + is[was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞などの理解を基に、キャッシュレス社会について話される会話の内容を詳細に聞き取る技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] It + is[was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	新紙幣に関する情報を話して伝えあっている。 友達の考えを踏まえて、自分の考えや意見をまとめるために、新紙幣やキャッシュレス社会に対する賛成・反対の両方の意見について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。	新紙幣に関する情報を話して伝えようとしている。 友達の考えを踏まえて、自分の考えや意見をまとめるために、新紙幣やキャッシュレス社会に対する賛成・反対の両方の意見について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能]新紙幣やキャッシュレス社会について、It + is[was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] It + is[was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	自分の意見を伝えるために、キャッシュレス社会の長所・短所について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意	自分の意見を伝えるために、キャッシュレス社会の長所・短所について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話し	パフォーマンステスト	

指導と評価の計画

	[技能]キャッシュレス社会の長所・短所について、It+is[was]+said+that 節、形式目的語 it と that 節、形式目的語 it と to 不定詞、助動詞+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。	して詳しく話して伝えている。	で伝えようとしている。	
書くこと	<p>[知識] It+is[was]+said+that 節、形式目的語 it と that 節、形式目的語 it と to 不定詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p>	自分の意見を伝えるために、キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。	自分の意見を伝えるために、キャッシュレス社会の長所・短所についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 1 2	<ul style="list-style-type: none"> 新紙幣やキャッシュレス社会に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 新紙幣やキャッシュレス社会について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 新紙幣やキャッシュレス社会について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 新紙幣やキャッシュレス社会について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 3 ～ 1 4	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 新紙幣やキャッシュレス社会についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson7 Some Secrets about Colors					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>色の心理的効果について、情報や自分の考えをまとめるために、色の心理的効果についての論説文から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。</p>	<p>色の心理的効果について、必要な情報や自分の考えをまとめるために、色の心理的効果についてのラジオ番組の解説から、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。</p>	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>	
	<p>[技能] 色の心理的効果について、関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、色の心理的効果についての論説文を詳細に読みとったり、ききとったりする技能を身に付けている。</p>				
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p>	<p>パフォーマンス テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>	
	<p>[技能] 色の心理的効果について、関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり、伝え合うやり取りを続ける技能を身に</p>				

指導と評価の計画

	付けている。			
(発表) 話すこと	<p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>自分の考えを友達に提案するために，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。</p>	<p>自分の考えを友達に提案するために，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。</p>	パフォーマンステスト
	<p>[技能] 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p>			
書くこと	<p>[知識] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>自分の考えを友達に提案するために，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。</p>	<p>自分の考えを友達に提案するために，色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>
	<p>[技能] 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を，関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞 that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞 where の非制限用法などの多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えを整理し，理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p>			

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 色の心理的効果に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 色の心理的効果について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 色の心理的効果について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 色の心理的効果について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 色の心理的効果についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson8 Powdered <i>Natto</i> solves a Global Water Problem					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	情報や自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーが汚水を浄化するしくみについて話される実演販売のセールストークから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握している。	情報や自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーが汚水を浄化するしくみについて話される実演販売のセールストークから, 必要な情報を聞き取り, 話の展開や話し手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握しようとしている。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの理解を基に, 納豆パウダーを実演販売するセールストークの内容を詳細に聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。	友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 納豆パウダーの成分, 開発の経緯や利点について, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

<p>(発表) 話すこと</p>	<p>[知識]強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]納豆パウダーという製品の利点などについて, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して, 実例を挙げながら詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。</p>	<p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p>
<p>書くこと</p>	<p>[知識] 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 納豆パウダーを販売促進するためのスクリプトを, 強調構文, 強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して, 販売促進するためのスクリプトを詳しく書いて伝えている。</p>	<p>納豆パウダーという製品を広めるために, 製品の利点などについて, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, 理由や根拠, 実例とともに論理性に注意して, 販売促進するためのスクリプトを詳しく書いて伝えようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察</p>

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 納豆パウダーや他の環境に配慮した製品についての情報や製品になるまでの手順、自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson9 Flying after Her Dreams					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	パフォーマンス スト 課題の提出 言語活動の観察 定期テスト	
	[技能]黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。	友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, ベシー・コールマンの視点から, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやりとりを続けている。	友達の意見を知り, 自分の考えをまとめるために, ベシー・コールマンの視点から, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを整理し, インタビュー形式で詳しく話して伝え合うようとしている。	パフォーマンス スト 振り返りの記述 活動の観察	
	[知識]譲歩を表す副詞節, no matter how[where, when], 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]について, 譲歩を表す副				

指導と評価の計画

	<p>詞節, no matter how[where, when], ベシー・コールマンの視点から, 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)などの多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えを整理し, インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p>			
<p>話す (発表)</p>	<p>[知識] 譲歩を表す副詞節, no matter how[where, when], 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 譲歩を表す副詞節, no matter how[where, when], 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)などの多様な語句や文を用いて, 情報やインタビューの質問事項と回答を整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意してインタビュー形式で詳しく話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, ベシー・コールマンへのインタビュー形式で紹介するために, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報やインタビューの質問事項と回答を整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。</p>	<p>1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, ベシー・コールマンへのインタビュー形式で紹介するために, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報やインタビューの質問事項と回答を整理し, 理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。</p>	<p>パフォーマンス</p>
<p>書く</p>	<p>[知識] 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when], 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when], 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)などの多様な語句や文を用いて, 情報やインタビューの質問事項を整理し, 想定されるベシー・コールマンの回答を理由や根拠とともに論理性に注意</p>	<p>1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, ベシー・コールマンへのインタビュー形式で紹介するために, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報やインタビューの質問事項を整理し, 想定されるベシー・コールマンの回答を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。</p>	<p>1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, ベシー・コールマンへのインタビュー形式で紹介するために, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報やインタビューの質問事項を整理し, 想定されるベシー・コールマンの回答を理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。</p>	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>

指導と評価の計画

	して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。			
--	------------------------	--	--	--

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労をに対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 1900 年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 アメリカにおける女性の専門職の就労についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
Lesson10 To Work or Not to Work? Humans and Robots					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	ロボットと労働について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットによる労働がどのように変化しているのか、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	ロボットと労働について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットによる労働がどのように変化しているのかについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	パフォーマンステスト	
	[技能]ロボットと労働について、過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ロボットの種類や働かないロボットについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。			課題の提出 言語活動の観察 定期テスト	
(やり取り) 話すこと	過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	自分が考案したロボットについて、友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、ロボットと労働について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。	自分が考案したロボットについて、友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、ロボットと労働について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。	パフォーマンステスト	
	[知識]過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]自分が考案したロボットについて、過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。			振り返りの記述 活動の観察	

指導と評価の計画

(発表) 話すこと	[知識] 過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	自分が考案したロボットを紹介するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えている。	自分が考案したロボットを紹介するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	パフォーマンステスト
	[技能] 自分が考案したロボットについて、過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節などの多様な語句や文を用いて、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して、詳しく話して伝える技能を身に付けている。			
書くこと	[知識] 過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	自分が考案したロボットを紹介するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。	自分が考案したロボットを紹介するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 自分が考案したロボットについて、過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist などに続く that 節などの多様な語句や文を用いて、考案した理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● ロボットと労働に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● ロボットと労働の変化について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● ロボットと労働の変化について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● ロボットと労働の変化について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	○
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 自分が考案したロボットについての情報や考えなどを話して伝え合う。 		○	○

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

充実した生涯へ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高齢者についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	高齢者の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	高齢者の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 【人生のなかで高齢期をとらえる】 ・高齢者の特徴や健康、経済面など社会生活送るうえで必要なことを理解する。	○		○	【知識・技能】学習プリントへの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】活動観察、学習プリントの提出
2 (4)	【高齢社会を支える】 ・現在の高齢社会を支える社会のしくみや制度を知り、高齢者の割合の変化などに合わせて必要な支援体制を展開することの必要性を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートへの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】活動観察、学習プリントの提出
3 (2)	【充実した高齢期へ】 ・高齢者が地域で生活することの意義を知り、協働し、支え合う持続可能な地域コミュニティ作りについて理解する。	○	○		【知識・技能】学習プリントへの記述内容 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートへの記述内容

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

文章作成実習

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。	素早くミスのないタッチタイピングに必要な知識を習得し、実践することができる。	ホームポジションを意識し、正しい指使いでミスなくタイピングすることができる。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○単語入力練習 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・学校行事の振り返りや2年生の目標について自分の言葉で文章を入力する。	○		○	【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子 振り返りの記入内容
2 (7)	○速度トレーニング ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・指定された文章を正確に入力する。 ・指定されたレイアウトでビジネス文章を入力し、自分で確認する。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業に積極的にに関わり、様々なことに興味を持つ。又、働く事への興味を広げ、卒業後の自分を意識できている。	自分のことを相手に伝えられる。相手の気持ちがわかる。	様々な状況の中で、自分がしなければならないことを取捨選択し、自ら実践する。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○ビジネスマナー復習 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・昨年のビジネスマナーで学習したことを確認する。 ・鏡を見て、身だしなみを整える。 ・振り返りをノートに書く。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
2 (5)	○社会的自立の意味と心構え ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・進路先を決めるために必要なことを確認する。 ・進学や訓練機関など卒業後の進路先について学ぶ。 ・福祉制度や福祉サービスの利用法を知る。 ・振り返りをノートに書く。	○		○	【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
3 (5)	○進路実現に向けての意識 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・就労について理解する。 ・進路決定までの流れを理解し、今やるべきことを考える。 ・福祉事業所やハローワークなど進路について相談できる場所について知る。 ・振り返りをノートに書く。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

文章作成実習

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。	文書作成の基礎知識について理解している。	文書作成や保存についての手順やルールを、その理由と共に理解している。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○文章作成の基礎知識 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・学校行事や2023年の振り返りなどについて自分の言葉で文章を入力する。 ・左揃えや中央揃え、右揃えなど文章作成に必要な基礎知識を理解し、したいされた形通りに文章を作成する。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子 振り返りの記入内容
2 (6)	○文書保存と印刷 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・作成した文章などの保存や保存先について理解する。 ・作成した文章などを印刷し、自分で添削する。	○		○	【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業に積極的に関わり、様々なことに興味を持つ。又、金銭管理や暮らし方の知識を深め、自立に向けてのイメージが意識できている。	自立に向けて、今やるべき事を意識する。また、他者との意見交換を通し考える力を身に付けようとしている。	身近な生活や金銭管理について理解し、社会生活を意識できる。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○日常生活・金銭管理 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・お小遣い帳のつけ方を学び、実践する。 ・カード支払いについて学び、特徴を理解する。 ・お金にかかわるトラブルを知り、対策を考える。 ・生活費の種類を知り、給料の使い方について考える。	○		○	【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
2 (6)	○卒業後の暮らし ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・貯金の必要性を理解する。 ・どのような暮らし方があるのかを知り、自分が思い描く暮らし方について考える。 ・振り返りをノートに書く。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

表計算ソフト実習

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
指示や手順通りに入力することができる。	ソフトの機能を正しく理解し、場面に合わせて活用することができる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○数式の入力 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・表計算ソフトの機能を知る。 ・手順書通りに入力をする。	○		○	【知識・技能】 プリントの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子 振り返りの記入内容
2 (4)	○文書の作成 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・タイピング練習する。 ・振り返りをノートに書く。 ・問いの条件に合った数式を入力する。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記入内容 課題取組状況 実技テスト 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅱ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業に積極的に関わり、自分の意見を相手に説明できる。又、権利と義務について理解し、自立に向けてのイメージが意識できている。	自分の意見をまとめ、具体性を持って相手に伝えることができる。	様々な意見をまとめることができ、次の活動に生かそうとする。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○権利と義務 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・国民の権利や義務について知る。 ・振り返りをノートに書く。	○		○	【知識・技能】 ノートの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
2 (4)	○面接練習 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・面接の入退室の仕方を学び、実践する。 ・振り返りをノートに書く。		○	○	【思考・判断・表現】 ノートの記入内容 課題取組状況 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況

令和7年度 上鶴間高等学校 年間指導計画 [第2学年 総合的な探究の時間]

第2学年（年次）の探究課題			職業観に基づいて、自分の進路を考える			
履修単位数（時間数）			1 単位（ 30 時間 ）			
教育課程実施に係る位置付け			■ 時間割に位置付けて実施 □ 時間割に位置付けるとともにある期間に集中して実施 （集中して実施する期間：			

※ 探究の学習の過程（①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現）

【単元計画】（単元ごとに記入） ※可能な範囲で記入してください。

単元名	広く職業について学ぶ		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を身に付け自分自身のキャリア意識を形成する。 ・生徒が進路選択に向けて職業や学問について探究し、各自の適性、能力、関心に合った進路実現に向けて、主体的に判断する能力を育成する。 		
単元の評価規準	評価の観点		単元の評価規準
	a	知識・技能	他者や社会との関わりについて学び、積極的に社会参画する力を身に付けている。
	b	思考・判断 表現	自分自身の適性や能力を客観的に評価し、進路実現をするための方策について考える。
	c	主体的に学習に取り組む態度	自分自身のキャリア形成に向けた学習活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
小単元名 (時間数)	学習活動		評価規準及び評価方法
課題の設定 (3時間)	○ガイダンス ○進路希望調査 ○解決したい課題の発見		a ○振り返りシート b ○ポートフォリオ c
情報の収集 (16時間)	○将来の自分をイメージして進路について考える <ul style="list-style-type: none"> ・上級学校の学部、学科について ・3年次の選択科目 ・模擬授業 ○解決したい課題についての情報収集		a ○ポートフォリオ b ○振り返りシート c
整理・分析 (8時間)	○将来の自分を見据えた進路について整理・分析する ○解決したい課題について収集した情報の整理・分析		a ○ポートフォリオ b ○振り返りシート c ○感想文
まとめ・表現 (3時間)	○まとめ ○発表 <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議 		a ○ポートフォリオ b ○発表 c ○研究協議